

腫瘍内科、内科 I（旧第 1 内科）に通院中
（または過去に通院・入院されたことのある）
の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] EGFR 遺伝子変異陽性非小細胞肺癌における EGFR-TK 初期耐性と PD-L1/PD-1 関連蛋白発現に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院、内科 I（旧第 1 内科）、腫瘍内科

[研究責任者] 大泉 聡史（内科 I・准教授）

[研究の目的]

非小細胞肺癌の治療法の開発のため、「癌治療に重要な PD-L1 と PD-1」が癌組織の中でどのように働いているかを検討することを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

EGFR（上皮成長因子受容体）遺伝子変異陽性の非小細胞肺癌の患者さんで、2004 年 1 月 1 日から 2014 年 12 月 28 日の間に内科 I、腫瘍内科で EGFR-TKI（チロシンキナーゼ阻害薬）の投与を受けた患者さん

●利用する検体およびカルテ情報

検体：手術または気管支鏡検査で採取し、残った標本を用い、「PD-L1、PD-1 蛋白質」に関する検査を行います。

カルテ情報：年齢、性別、喫煙歴、組織型、分化度、病期、血液検査・画像検査結果、治療後の経過など

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科 I 担当医師 大泉 聡史

電話 011-706-5911

FAX 011-706-7899